

# Convi.BASE で管理する ライフサイクルマネジメント



# なぜ今、IT資産のLCM (ライフサイクルマネジメント) が必要なのか？

現代のビジネス環境において、IT資産は業務の根幹を支えるインフラとなっており、その重要性は日々増しています。

クラウド化やリモートワークの拡大、サイバーセキュリティ対策の強化といった変化により、IT資産の適切な管理は、もはや選択ではなく**必須事項**となりました。

一方で、多くの企業では以下のような課題が顕在化しています。

資産の全体像が把握できていない

ライフサイクル管理が属人的で非効率

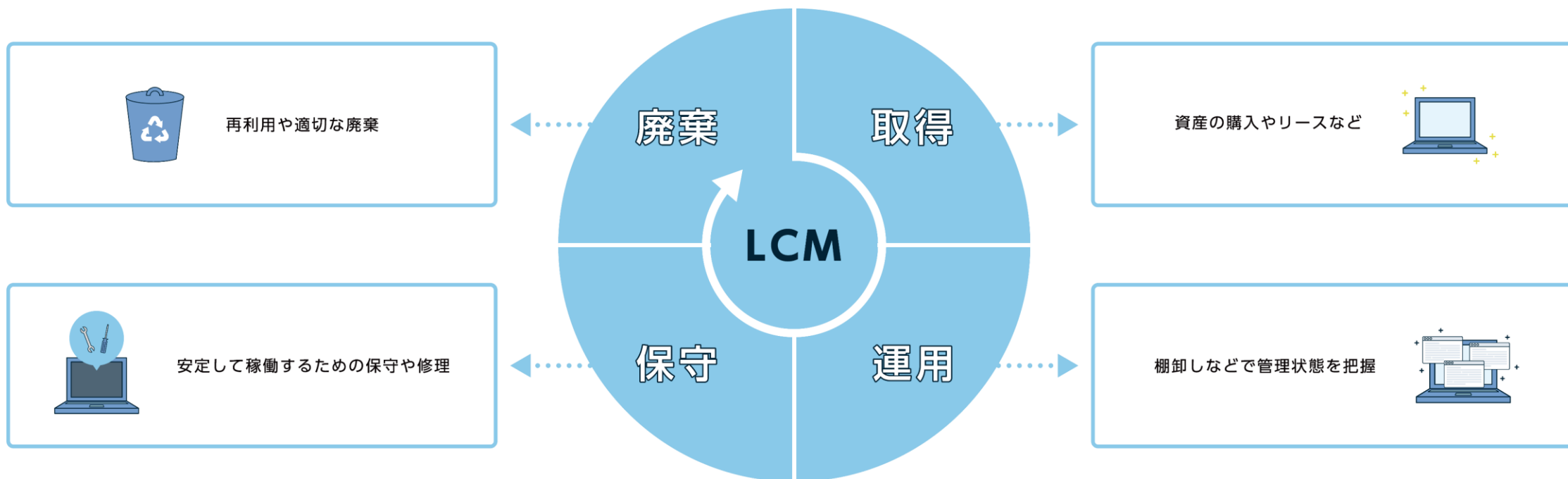
未使用や放置された資産によるコスト増

セキュリティリスクの把握・対応が遅れる

前述の課題に対応するために注目されているのが、「**LCMサービス**」です。

**導入実績No.1**※の物品管理システム「**Convi.BASE**」では、IT資産のライフサイクルである「**取得**」「**運用**」「**保守**」「**廃棄**」を一貫して管理できます。

管理項目を自由に設定できるため、LCMはもちろん、固定資産や備品、機械設備などの**ありとあらゆる物品管理に拡張**でき、**既存の運用に合わせてご利用**いただけます。

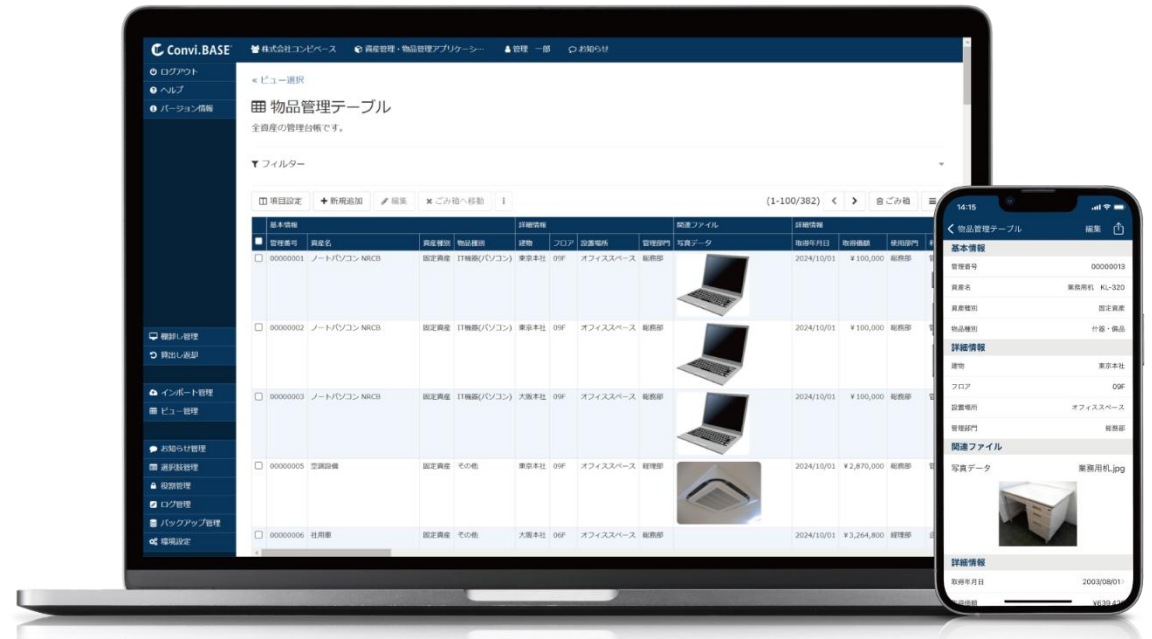


# 物品管理システム「Convi.BASE (コンビベース)」とは

固定資産や備品、IT資産などの、社内のあらゆる物品を適正に管理・運用するためのクラウドサービスです。

- 誰がどの物品を使用しているか分からない…
- 物品の紛失が発生している…
- 面倒な棚卸しを楽にしたい…
- 監査で物品管理について指摘された…

このような物品管理の「困った！」を解決します。



取得

運用

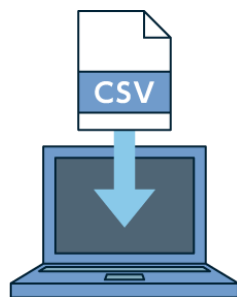
保守

廃棄

この取得フェーズで資産情報を正確に管理することで、運用～保守～廃棄フェーズの管理をスムーズに行うことができます。  
LCMのスタート地点として、特に情報の整備と台帳管理が肝心です。

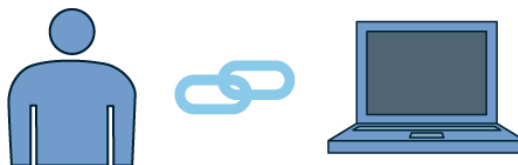
Convi.BASEでは次のような管理が可能です。

## 購入またはリースした 資産の基本情報の登録



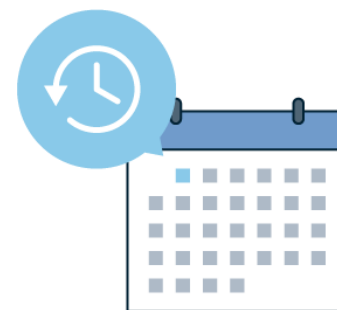
資産の管理番号や名称といった基本情報を、  
CSVインポート、または台帳の画面上から登録  
できます。(管理番号は自動発番可能)

## 部署や使用者の紐づけ、 スペックなどの登録



管理項目や並び順、格納するデータの型など  
をすべて自由に構成できるため、運用に合わせ  
た情報を登録できます。

## 利用開始日や 契約更新日の登録



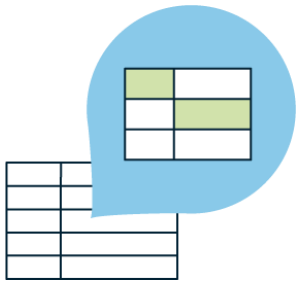
次回のアクション期日を登録することで、アラート  
通知できます。



「どう使われているか」「正しく使われているか」を把握し、適切な管理と改善に活かすことが目的のフェーズです。  
この段階の管理が不十分だと、無駄なコストやセキュリティリスクが発生しやすくなるため、後の保守や廃棄にも大きく影響します。

Convi.BASEでは次のような管理が可能です。

## 更新履歴の自動記録で トレーサビリティを確保



資産の情報を更新するたびに、履歴を自動で記録します。変更箇所はハイライト表示されるため、「誰が」「いつ」「どの項目」を更新したかが一目でわかります。

## QRコードやICタグによる 効率的な棚卸し



iOS・Androidアプリ※で管理ラベルをスキャンするだけで、誰でもミスなく高精度に棚卸しできます。棚卸しにかかる工数を70～90%削減することも可能です。

## 貸出し・返却履歴から 稼働率レポートを表示

| 稼働率(%) |         |
|--------|---------|
| 平均     | 2025/04 |
| 49.46  | 64.52   |

iOS・Androidアプリ※で管理ラベルをスキャンするだけで貸出し・返却を記録できます。貸出し履歴から指定した期間の稼働率を表示して出力できます。

取得

運用

保守

廃棄

IT資産を安定的に稼働させ、トラブルや故障を未然に防ぎながら、長期的な価値を維持するための重要なフェーズです。過去の利用履歴や構成情報が整っていれば、保守対応の効率も大きく向上します。

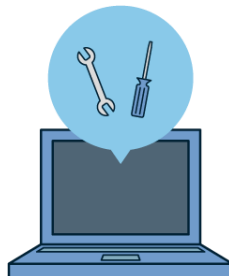
Convi.BASEでは次のような管理が可能です。

## 保守契約に関する 情報を一元管理



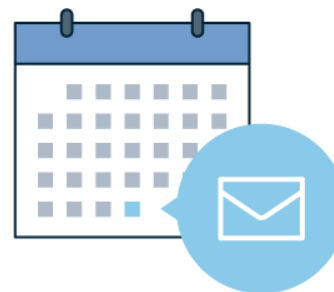
契約会社や契約担当者、連絡先などの保守に関する契約情報を一元管理できます。また、故障や契約更新などの対応状況をステータス管理することも可能です。

## 保守や修理のたびに 履歴を記録



運用に合わせた保守や修理専用のフォームを作成でき、作業のたびに履歴専用の台帳に記録されます。作業報告書といったPDFなどの関連ファイルも添付できます。

## 保証期間や保守期限の アラート通知



30/60/90日前など、任意のタイミングでアラートメールを送信できます。アクション期限を超過した際のアラート通知も可能です。

取得

運用

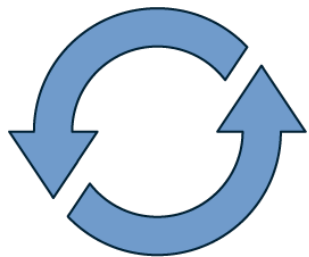
保守

廃棄

IT資産の使用が終了し、適切に回収・処分・記録されるフェーズです。  
情報漏洩や資産の無断持ち出しを防ぐためにも、非常に重要なプロセスです。

Convi.BASEでは次のような管理が可能です。

## 「廃棄予定」ステータスで 再利用を検討



廃棄対象に「廃棄予定」などのステータスを付与することで、「廃棄予定一覧」を作成して再利用できるか否かの判断材料にすることができます。

## マニフェストと 廃棄対象の紐づけ



マニフェストなどの関連ファイルの添付のほか、廃棄日、廃棄理由、処分方法などの廃棄に関する情報を一元管理できます。

## 現役資産と 廃棄済み資産を区別



廃棄対象を「除却・廃棄」フォルダに移動させることで、現役資産と区別できます。移動後も廃棄済み資産は個別に履歴を確認できます。



LCM（取得～運用～保守～廃棄）を「Convi.BASE」で一元管理することで、全体最適・業務効率化・リスク低減といった観点で大きな導入効果が得られます。

## 1.資産の「見える化」と管理精度の向上

- ✓ 資産のLCM情報（取得日、使用者、修理履歴、廃棄日など）を一元化
- ✓ 属人化・手作業による管理ミスを削減し、情報の正確性を向上
- ✓ 利用状況や保守傾向が可視化され、更新・リプレースの判断が容易に

## 2.管理業務の効率化

- ✓ 棚卸しや定期メンテナンスの作業工数を大幅に削減
- ✓ ガントチャートや稼働率レポートで貸出し・返却・予約状況が見える化
- ✓ 更新・保守期限などをアラート通知で管理

## 3.コストの最適化・無駄の削減

- ✓ 利用されていない遊休資産の発見と再活用により、新規購入の抑制
- ✓ 保守コストや故障頻度の高い資産を早期に特定して計画的な更新へ
- ✓ 保守契約の適正化による無駄な支出の削減

## 4.セキュリティ・コンプライアンス強化

- ✓ 利用履歴の記録により、不正利用や紛失時の対応が迅速に
- ✓ 廃棄やデータ消去の証明記録を残して監査対応やガバナンス強化に寄与
- ✓ サポート切れ資産の早期発見が可能に

株式会社PFU 様



管理対象

固定資産・情報資産（約22,000点）

課題

- 部門や拠点ごとに資産管理しており、情報が分散していた
- 棚卸しは第三者確認のため、2人1組で実施していた
- セキュリティ強化のため、情報資産の管理徹底が求められていた



事例記事を読む

## 導入の決め手



情報の一元化

固定資産や情報資産の管理を一本化でき、いろいろな現場で対応できる機能がある



操作性

物品管理台帳での柔軟な項目追加や画像登録ができるので、モノが特定しやすい



システム連携

各部門が個々に持っている既存システムと連携できる



導入実績

富士通グループ内での導入実績があり、「大変使いやすい」と評価が高い

## 導入効果



資産の見える化

何が、どこに、どれだけあるのか、全体像が見えるようになった



棚卸しの効率化

QRコード読み取りによって1人で作業できるようになり、工数が大幅に減少してミスもなくなった



LCMの徹底

資産のライフサイクルを通じた管理が実現した

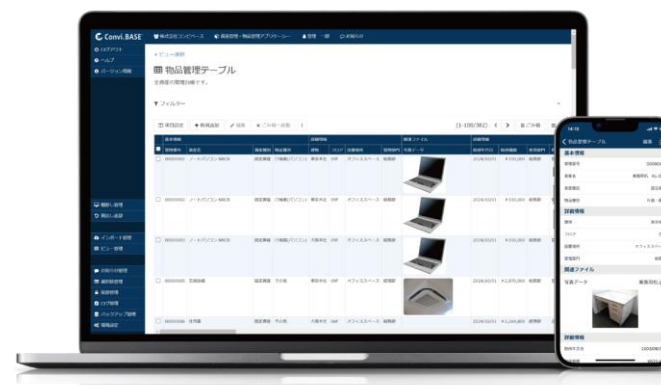


セキュリティ向上

情報資産の管理状態を即答できるようになり、安心感が向上した

物品管理クラウドサービス「コンビベース」の資料のご案内のほか、  
資産調査・ラベル発行・棚卸し代行などのアウトソーシングサービス、  
運用マニュアル作成・業務フロー策定などのコンサルティングサービス  
についてもお気軽にご相談いただけます。

「こんな運用できる？」など、物品管理システムに興味をお持ちの  
方は、お気軽にお問合せください！



## 資料を請求する / オンライン無料デモに申し込む

- ✓ 何ができるのか概要を聞きたい
- ✓ 機能や費用について質問したい
- ✓ 自社の運用に合うか確認したい
- ✓ 導入事例・運用事例を聞きたい
- ✓ 物品管理の始め方を相談したい
- ✓ ラベル発行・貼付代行について聞きたい

|        |   |
|--------|---|
| 名称     | 株式会社コンビベース  |
| 設立     | 2023年11月  |
| 事業概要   | あらゆるモノの管理を最適化するための各種サービスの企画・開発・販売<br>物品管理クラウドサービス Convi.BASE（コンビベース）の企画・開発・販売 |
| 本社     | 〒103-0025<br>東京都中央区日本橋茅場町3-11-10 PMO日本橋茅場町ビル8F<br>TEL：03-5643-6743（代表）        |
| E-mail | cb-info@convibase.co.jp   |
| 資本金    | 1,000万円   |
| 代表取締役  | 森本 哲行   |
| 認証規格   | JIS Q 27001:2014(ISO/IEC 27001:2013)<br>※事業者名「株式会社ネットレックス」の登録範囲内で認証取得         |





お問い合わせ

株式会社コンビベース  
営業部 マーケティンググループ



03-5643-6743



cb-info@convibase.co.jp